

柏陵

発行
県立本庄高校同窓会
会長 戸谷全克
事務所 本庄市中央1-7-21
戸谷八内
☎0495(22)2008

題字は本中一回卒
相川榮陽先生筆

出来ませんでした。今回は記
年号という事で全員配布とし、
役員会の承認を得て「柏陵」
という題字を付け、これを旧
中一回卒で米寿を迎えられて
も壮健であられる書家で、母
校で二十七年間教鞭を執られ
た相川徳平先生に揮毫して戴
きました。尚、卒別終身会
費納入者一覧表も同封致しま
した。お確かめ頂きたいと思
います。第四の事業は記念植
樹であります。母校にゆかり
の柏を三月の新会員入会式当
日植樹する予定であります。
第五は五年後の母校創立八十
周年が同窓会発足五十周年に
も当たりますので記念誌を発
刊する事に決し、七十周年誌
を手掛けた卜部義典先生に再
度ご苦勞をお願いしてありま

支部長会議・ 新年会等日程

二月二十二日(土)

於五州園

- 一、支部長会議 午後三時
- 二、記念音楽会 午後四時
- (1)演奏家

琴 下野戸重弓 高34

フルート 萩原順子 高39

共に東京芸大器楽科卒

(2)曲目 春の海 ほか

三、新年会 午後四時半

会費三、〇〇〇円

※総会は六月母校にて開催
予定

本部役員

会長 戸谷 全克 高1

副会長 立川 大作 中9

副会長 高木 敏子 女8

副会長 清水 實 中19

副会長 吉田 建治 高2

副会長 塚越 寿衛 高2

副会長 竹並栄一郎 併中2

副会長 小林 晶 高12

副会長(教頭)萩原 洋造 高12

副会長(教頭)荻塚 光臣

会計 内野ヨシエ 女16

会計 清水 正一 高6

監事 江原 清吉 高4

監事 竹内恵美子 高6

顧問 岡 祐孝 中9

顧問(校長)坂本 博 高7

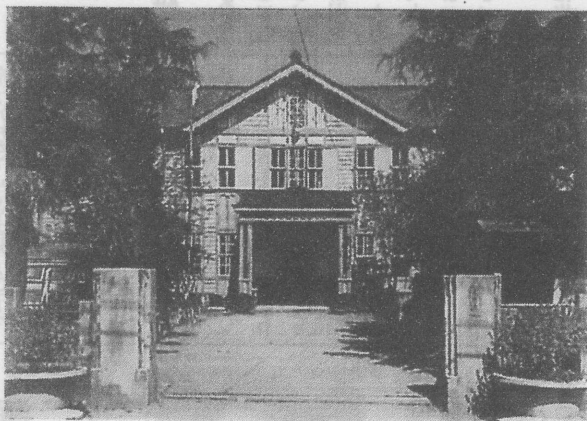
謹賀新年

四分の三世紀という大きな
節目の年をこぼぎ、同窓会
では五つの記念事業を計画し
ました。まず第一は会員名簿
の作成であります。これは一
年間に亘る調査の結果、去年
の五月完成をみました。次に
在校生に感銘と誇りを与える
べく記念講演会を企画致しま
した。学校側のご理解とご協
力が得られ、去る十一月二十
七日全校生徒、教職員、PT
A会員と同窓会側からも六十

近藤徹氏で「高校生と生活環
境」と題して約一時間スライ
ドを使つての講話を戴きまし
た。五州園での懇親会は講師
の恩師である大野・渡辺両先
生を囲み、和やかな雰囲気
の中、二時間の楽しい語らい
の時を過ごしました。第三の事
業がこの記念会報の全員配布
であります。前号つまり二十
三号までは予算の関係もあり、
終身会費納入者以外の会員に
は三回に一回程度の配布しか

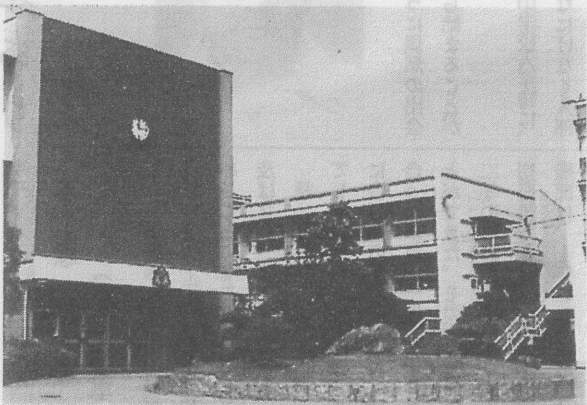


旧県立本庄中学校



県立本庄高校↓

旧本庄高等女学校↑



柏陵消息

元本高定時制主事 栗田竹雄



私が本庄女学校に着任したのは昭和九年であった。まだ校歌もない時で、早川千尋校長の下で作曲を信時潔氏に依頼し、作詞を土岐善磨氏にお願いした。氏を私が阪東大橋の中程の所まで案内し、傍で、赤城から関東地方全体を見渡した感じで作詞して貰った。

の採集ができた事などである。次に、終戦間際のことになるが、女学校を工場にし、生徒の勤労奉仕で軍の兩合羽を作った。敗戦直前に作ったものは取りに来なくなってしまう。その幾つかはまだしまっている。記念としてしかるべき所に寄附したい。

女学校時代の思い出は修学

“七十五周年を機に大きな飛躍を”

原 多喜男
(中十九回卒)



私が本庄高校にお世話になったのは、旧制中学校の生徒としての五年間、新制高等学校となった翌年より数学の教員として八年間です。その頃のこと……。▼多くの卒業生の思い出に残る軽井沢剛健行軍には四回参加しました。五年生の時には、年間学徒動

労働員であり、ボール盤工、旋盤工等の得難い経験をしました。勉強の方は自学自習、科目によっては、相当レベルの高いところまでやりましたが、教科のバランスのくずれは、今でも時に基本知識の欠如に“ハッ”とすることがあります。特に戦時のあおりをうけた英語には今でも泣かされています。また、多くの人が戦時体制に組みこまれてゆく中で、私達生徒を守るのに苦悩された先生方を目の当たりに見て、その教育に対する姿勢に深い感銘を受けました。▼本庄高校に転動した七月に本庄高校(男子校)と本庄女

旅行がある。当時は夜行で行って夜行で帰る、席も生徒数ある訳ではない。旅先で生徒が病気になる大変苦労したことなど思い出深く残っている。本高定時制の思い出は、いじめにあった事を体験発表し文部大臣賞を受賞した生徒も出たことなど記しておきたい。
(元 高校長)



邂逅あり



人生は、思うに偶然の出会い(邂逅)から始まることが多いと。

私は、本庄中学校入学時に、友に誘われてなにげなく入部

子高校との統合がありました。翌年四月より男女共学が実施されたが、その間、何回となく両校職員の合同会議がもたれました。質実剛健を地でゆくような男子高校教員に、女子高校の先生方は、いささか閉口した様でした。共学をどう進めるかは勿論でしたが、新制高校の位置づけ、生徒の学力充実策等に口角泡を飛ばして議論しあったのは、今では懐かしい思い出です。▼二十世紀末の今、世の中が大きく変わろうとしています。教育の世界も例外ではありません。本庄高校の在り方を真剣に討議され、七十五周年を機に、大きな飛躍に向って踏み出す事を期待いたします。
(元 高校長)

大塚 俊雄 (高十三回卒)

した「体操部」との出会いが、今日まで四十年余の人生を決めることになろうとは思いますが、及ばなかった。

誘った友は、一日で退部してしまったが、私は体操が肌に合ったのか、部員と意気が合ったのか、三年間頑張ることができた。その甲斐あって、二年の時に県大会でチームが初優勝できた。以来、本中体操部は、十年の長きに渡って連続優勝という黄金時代を築くことになったのである。

進路は、体操の名門校か、地元本高かで、大変迷った。本中体操部の友と共に、器具

も満足になく無名ではあるが地元で頑張ろうと、本高に決心した。

ここでの出会いも、幸い良き先輩達に恵まれた。我々新入生の体操にける情熱を汲みとり、週二、三回の練習を毎日する様にしてくれた。私達も大学の試合を観に行ったり、他県の合宿に参加したりと、研究・練習に励んだ。本中体操部の後輩達も入学して来て、三年の時には、県大会で準優勝を遂げることができた。今、振り返っても充実した楽しい毎日であった。

私は良い出会いを多く体験したことに感謝しており、又これからも、良い出会いに巡り合いたいと思っている。
(現職員)



創立75周年記念事業の一環として
母校で講演する近藤 徹氏 (高6回卒)

新たな飛躍を求めて

学校長 坂本 博
(高七回卒)



同窓生の皆様には日頃より母校のため御支援、御協力を頂き厚く御礼申し上げます。

本年は本庄高校創立七十五周年ということで、感慨深いものがあります。

県北の雄といわれた本庄高校が輝かしい伝統を受け継ぎ、更なる飛躍をなすべく、教職員一同が日々精進いたしておりますが、今後ともよりしくお願いいたします。

現在、本庄高校の生徒の状況をみると、殆どの生徒が、進学希望であり、往時と較べると時代の変化を感じさせら

れます。

こうしたことから、生徒の希望実現のために、進路指導の充実が求められております。

職員、生徒の努力により、現在、現役合格率は四十三%になりましたが更なる向上をめざし頑張っております。

その一例を示しますと、一年生では、年間をとおし、毎週一回、七時限に国・数・英のローテーションでテストを実施し、基礎学力の定着を図っております。また各教科では指導法を工夫して学習効果を高めたり、日常的に補習授業を行うなど、きめ細かな指導をすすめております。

一方、部活動も活発で、野球部は夏の大会ではシード校

を破り、四回戦まで進み、球場では吹奏楽部の素晴らしい応援をうけ大変感激しました。球場で歌う校歌は何回あってもいいものだ、と、本庄高校生の時代を思い出し、感無量でした。

この他の部活動の状況については、別にありますのでご覧下さい。

本校は伝統的に「質実剛健」を校風としてまいりました。

服装や言動でも空虚な飾りを除け、中味の充実、本当の実力の養成を大切にしてきました。

在校生諸君が、この伝統をよく理解し、精神の充実を導び、服装や形を整え、心の清澄さを保てるよう日々精進されるよう期待します。

同窓生の皆様が益々ご健勝にて、ご活躍の程を祈念申し上げます。

母校に図書を

会員が著した書物を是非母校にご寄贈下さいませんか？

「寄贈図書」

木村 滋 (高十回卒) 著

「昆虫に学ぶ」

近藤 徹 (高六回卒) 著

「治水計画と治水施設設計の信頼性・安全性向上に関する研究」

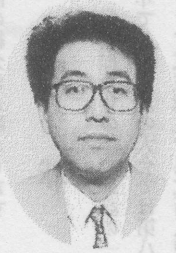
らに、放課後や長期休業中の進学補習、小論文指導など各教科での取り組み、そして県外視察による他県・他校の先進的な取り組みを学び、積極的に取り入れていることなどによることがある。

今後の課題としては、九六年度を例にとると、現役合格者一七七名のうち短大が八七名、また指定校及び一般推薦が八五名と、それぞれが全体の約半分を占めている。このことから、現役合格率の向上は、短大及び推薦入試に支えられていることによるものである。今後は四年制大学及び一般入試による現役合格者の増加を目指すことが大きな課題である。この課題を解決するために、進路指導部を中心

に各学年・各教科の連携を図り、生徒の進路意識の高揚と学力の向上を目指し、一層の進路指導の充実を図ることが急務である。

進学状況の現状と課題

進路指導部 飯塚 尚人



最近の入試状況として、一九九二年度をピークに十八歳人口が急減し、受験生には門戸が広がり、大学・短大によっては、かなり入りやすくなる

一方、志願者が特定の大学に集中して、より一層入りづらくなるなど、二極化の傾向が見られる。また長びく不況の影響もあり、国公立大学への志願者が増加し、センター試験の志願・受験者がこの数年、史上最高を更新している。そして女子の四年制大学への受験も相変わらず増加している。

このような状況の中、本庄高校の進学状況は、下表に示された通りである。数字的にはあまり大きな変化がないように見えるが、現役合格率は九二年度の三五・四%から九六年度は四十三・三%と大きく上昇していることが特徴的である。この背景には、生徒の進路希望に応じた教育課程の編成や、一・二年生で五年回の実力テスト、三年生では年十回の模擬試験の実施。さ

最近5か年の進路状況

() は現役

	1992	1993	1994	1995	1996
国公立大学	16 (5)	11 (1)	13 (3)	11 (5)	13 (2)
私立大学	179 (66)	177 (66)	189 (80)	159 (72)	183 (88)
短期大学	114 (98)	112 (102)	76 (74)	94 (89)	94 (87)
専門学校	79 (75)	69 (62)	73 (66)	52 (52)	80 (73)
公務員・就職	15 (15)	4 (4)	6 (6)	9 (9)	8 (5)

国公立大学

大学	人数	大学	人数
1 群馬大学	3	7 東京学芸大学	1
2 高崎経済大学	3	8 東京芸術大学	1
3 群馬県立女子大学	1	9 東京都立科学技術大学	1
4 埼玉大学	1	10 東京都立大学	1
5 図書館情報大学	1	11 福岡県立大学	1
6 電気通信大学	1	12 福島大学	1
合 計	16		

一九九六年度のおもな進学先

私立大学

大学	人数
1 大東文化大学	30
2 東洋大学	28
3 城西大学	23
4 日本大学	22
5 国士舘大学	13
6 東海大学	10
7 東京国際大学	10
8 駒沢大学	9
9 立正大学	8
10 法政大学	7

野
球

え県ベスト16。昭和20年代の関東大会進出、昭和50年代の県ベスト4の栄光には、及ばないものの一步でも先輩たちに追い付こうと努力してきたことが幾らか形となつて現れたように思います。これから精一杯の努力を選手とともども



ワンダーフォーゲル
(旧登山部)

近年中高年者の登山が盛んになっていきます。実際山で会う登山者は多くは中高年女性です。そんな中でも、地道な活動を続けているのがワンダーフォーゲル部です。月一回の山行を基本とし、夏冬の合宿を行い、高体連の大会にも積極的に参加し学ぼうにしています。最近の高校生の体

できました。真夏の大山山系で行われた大会は、標高が低いので猛暑とのたたかいでしたが、体力的にはめぐまれていない四名の女子がよく頑張りました。他県の高校生との交流もでき、大変有意義なものとなりました。とにかく目の

文責 古末行一

弓道部は本高で伝統のあるクラブの一つである。

現在、弓道部は校庭の北西の角に位置し、毎日、練習に励んでいる。部員数は、男子二四名、女子三四名で計五八

名の太所帯である。道場は伝
統を物語り、三人立でこじん
まりしており、補修を繰り返
しながら使用してきた跡がう
かがえる。

山口道子

平成七年度全高文連祭書道部門埼玉県代表として田中奈緒美の作品が選ばれた。過去

は月水金日とし、皆、熱心に
取り組んでいる。



▲高校全国大会出品作品
佐藤佳織さん(3年)「静物」F40

二年間次点であつたため喜びは一入であつた。

活動内容を、現部長の新井真紀に紹介させると、「四月の本庄市民ギャラリーでの校外展、県硬筆展、柏樹祭では

二教室を借切の書展、県立近代美術館での高校書道展、県書きぞめ展、校内書展など様々な作品展に出品しています。

作品制作のための毎日の練習
はもちろんですが、夏休み三
泊四日の長野県禅寺での自炊

点心込めて毎日何枚も何枚も
よりよい作品を目指して練習
しています。仕上がった作品
には、作品にあわせ印を刻し、
作品の裏打ちをして額装や掛

仕上がったときの喜びと作品は、私にとっての宝物です。十四名の部員の友情と協力で、今後がんばります。

社会科学研究部では、地域に密着した歴史・民俗の調査研究を目標に、少人数ながら地道な活動を行っています。

ここ数年の活動内容は、平成六年「お犬様の研究」、平成七年「御嶽信仰の研究」、平成八年「金鎖神社の研究」で、いずれも未だ誰も手をつけていない分野の研究であり多方面から絶賛をいただいております。

殊に、柏樹祭においては二年連続の「柏樹祭大賞」を受賞いたしました。

機関紙「はもり」(「葉守」)の意で、柏の葉に存すると言われる学問の神)は創刊以来、県立図書館を始めとする各種研究機関に収蔵されており、周辺町村の歴史講座でも生徒自身が講師として発表を担当いたしました。

昨今では、生徒の文化距離
 れが著しく、ともすれば専門
 的に調査を行う者を「おたく」
 呼ばわりする風潮があります
 が、部員諸君はそうした雑音
 に惑わされず着実な成果をあ
 げております。

本年も新進気鋭の新入部員を得て、「本高健児」の名を轟かせるべく活動を続ける所存です。

顧問 中嶋信彰

終身会費納入者ご芳名一覧

77・9・17 (第一号) 96・10・2 (第三四六〇号)
◎卒回数下の数字の上段は会員数・下段は納入者数(略敬称)

- 【1】 (67・15) 相川徳平 朝比奈富寿 下部吉太郎 大屋末吉 金井松三郎 金子満 柴崎 亮 島田三郎 関口利雄 平川忠雄 加藤信雄 中村栄三 橋本信司 増沢清茂 松崎信雄
- 【2】 (72・17) 岩田嘉幸 絵野沢喜之助 大島四郎 小谷野四郎 早野右男 鈴木竹次 富沢貞次 井出孝 肥土喜三郎 日向喜平 春山通雄 森 哲夫 森田徳英 日向喜平 茂木米作
- 【3】 (88・23) 新井富士重 飯島良 飯島武一 今井和子 内田信夫 岡部三郎 亀田卯作 桑原均 小林常治 堀英治 清水尚 林孝太郎 福島喜久 堀越茂三郎 松永広純 森田 勇 諸井興治 山田綱男 山田英雄
- 【4】 (73・14) 相羽喜久夫 青木睦太郎 新井満次郎 内山栄一 金井文雄 上山 茂 斎藤 肇 沢木三郎 長谷川清 吉田逸男 野口 武 野沢英雄 長谷川清 吉田逸男
- 【5】 (79・13) 黒沢敬次 坂本良全 清水憲次 高川勝雄 田島弥太郎 徳世武夫 中神保男 矢崎勇治 蛭川太郎 松本甫作 丸山平吉
- 【6】 (82・10) 金井次夫 金山一雄 河田六郎 坂本正義 関口昌助 杉万衛 筑井重 萩原 順 馬場通博 松本清三郎
- 【7】 (77・23) 飯野謙一 井古田孝次 上田 晃 大木高校 柿沢八十八 金田一郎 石川勝興 倉本伸一 齊藤新太郎 藤原徳重 奥田安二 岩沢武司 高橋周兵衛 高橋徳典 中島真一 根岸功 茂木正司 細井瑞穂 丸橋繁四郎 美沢房夫 持田直次 矢代 登 吉田教作
- 【8】 (87・30) 青木定策 新井忠男 飯塚 栄 石田義信 上野清次郎 大林文雄 柿沢総一 神住善治 山崎隆 野島常夫 倉林正蔵 倉本辰次 境野覚治 高橋 茂 下山武雄 鈴木理民 高橋秋雄 佐藤 茂 武政健司 立石都栄 鈴木貞二 戸矢史恵 松井一雄 水木光雄 星大郎 安原寿郎平 江田廣典 山田真雄 吉田哲郎
- 【9】 (84・29) 朝比奈利雄 新井敏久 飯島彰 飯野善郎 石川貞司 岡 清典 岡 祐孝 飯田 精 金子秀雄 木村九仁夫 小林徳雄 斎藤 隆 坂井四郎 堀原 勇 須賀通夫 鈴木睦二 須藤徳三 立川大 富田恒次 中島十一 中林清次 野沢 要 山崎芳治 濱岡三三 福嶋英雄 金井亮衛 松本之正 茂木 喬 吉岡樹作
- 【10】 (81・31) 朝比奈慶光 新井勝彦 伊久間秀光 岩崎憲国 江原広治 岡岸鶴五郎 萩野 弘 金井菊治 金田芳二 坂本長雄 吉田庄平 青木雅雄 清水収平 下山延二 豊国智堂 杉健治郎 鈴木幾久 吉武文次郎 高橋 晃 高柳康治 島塚重義 長塚寿一 千代田正治 萩原武夫 長谷川寛 根岸治太郎 萩原武夫 長谷川寛 日向忠藏 星野正幸 丸橋寿男
- 【11】 (87・26) 荒井富次雄 市川二郎 金子敏隆 門倉義久 金井正夫 坂根正治 黒沢公夫 小林丹寿 紺野真次 坂庭吉次 黒谷和紀 鈴木寛次 高田幸雄 田島福造 田島一夫 谷川治男 中林徳男 西山章二 奈雲徳雄 林 芳雄 早野綱司 藤牧一郎 町田英雄 松永広祐 大塚林次郎 近藤政明
- 【12】 (86・14) 大倉正雄 高橋 茂 金井英雄 松本克己 倉林仙之助 坂本敬信 篠崎三郎 田村邦太郎 坂本保二 松崎健一郎 持田善丸 増田 暁 坂本保二 松崎健一郎 持田善丸
- 【13】 (93・22) 飯塚 暁 飯塚雅一 石川 堯 岡部操作 片倉敬吉 金井千秋 金井仲三郎 金井 博 喜多利勉 木村昌文 小林幸夫 佐々木正弘 佐藤周郎 篠崎正文 柴崎國威 杉田育一 高橋申吉 田中幸太郎 東村敬夫 徳世 敬 村松榮一 四方田幸雄
- 【14】 (86・15) 石川 昇 川田日出夫 河野善則 小森谷茂行 須藤清次 神戸野郎 徳江文吉 戸谷零二 折茂金秋 新村宇門 貫井清英 松崎正男 茂木 肇 山口仁一 横堀正一
- 【15】 (91・25) 青木 弘 安斎謙三 伊藤智治 小林豊太郎 梅澤 剛 岡田 深 小泉進造 亀岡基雄 久保田謙 倉林 淳 倉林 晴 栗原 正 小谷野蔵一 新井從信 笹尾四郎 篠田 登 須賀喜太郎 杉 真次 谷矢敬夫
- 【16】 (92・44) 田部井定次郎 戸谷金春 中兼久 日花孝一 矢代 正 渡辺美次
- 【17】 (101・30) 飯島 巖 石井 薫 上田敬夫 江川郁夫 岡野 勉 番二郎 雄岡恵太郎 國谷敏朗 須賀岩雄 須賀敏郎 須賀昌吉 清水 浩 内田保夫 須賀敏郎 関口一郎 田島正治 田中秀男 角田日出夫 富沢 宏 立野博三 春山俊三 福島一成 福島幸平 星 慶二 八木一郎 若本義成 福島一男 吉田慶二 四方田勇雄 渡辺誠一 郎
- 【18】 (96・39) 秋元基樹 朝原 勇 浅見重 新井厚明 伊藤昭次 萩野 武 雨宮 剛 金井広治 川崎信夫 木村始 久保田正義 久米実 倉原信一 倉上 寛 斎原礼次郎 斎藤政夫 齊藤英一 坂野 寛 高橋良 下山篤一 杉 雅良 高橋正昭 中村 茂 野口喜藏 島羽三郎 根岸和雄 堀内一 丸山喜三 三ツ間有三 茂木清一 森田清司 鈴木久衛 吉田 久 吉野忠雄
- 【19】 (133・38) 相川武雄 赤沼良治 浅尾進一郎 新井康友 青木善一 坂垣仙次郎 金井正造 木村雅彦 桑原広太郎 高田 進 坂本多夫 杉山慶治 清水昭男 清水 實 田村敬平 関口正己 小川昭二 千田英彦 中田信一 塚越正信 寺島 博 長谷 一 根岸隆一 原多喜男 堀内文治郎 日野仁保 平野 斌 藤原 豊 堀内文治郎 日野仁保 平野 斌 藤原 豊 峯村辰雄 茂木聰一 山田一男
- 【20】 (145・45) 荒井廣治 飯島昭二 吉田条雄 井田恵夫 加藤基治 坂本英一 木部太郎 黒沢昭三 細谷 靖 嶋田守 真尾光一 萩原喜徳郎 芝崎 健 清水橋雄 高柳辰治 相模良次 高野 晃 高橋 茂 高柳辰治 高柳辰治 高野 晃 竹沢行雄 武正光雄 戸矢和男 新田和彦 野口 茂 橋本昭正 藤本良三 早野 栄 宮下康夫 宮田哲也 村岡喜喜 村上和夫 百田芳雄 柳沢 喬 湯山利夫 横堀 蔵 吉野芳雄
- 【21】 (40・11) 大塚武平 大橋知次 柴崎武夫 柴崎恭平 鈴木清司 高田静男 高宮 守 角田重次 徳世 近 野口義行 細井精一郎
- 【22】 (104・48) 浅見篤郎 荒井 威 山田重雄 新井泰仁 飯島 昭 清原道夫 伊藤福雄 井上昌幸 岡野 昭 遠藤利次 大野福治 岡 三郎 菊池壽策 北島宏男 町田尚夫 金井久直 栗田数馬 坂上巳 阪本宜康 真田幸男 塩原祐次 塩谷敏 杉原秀夫 佐藤正夫 高木芳郎 高田保治 高橋嘉明 高柳守男 竹内善昭 根岸重浩 中神恒男 中島秀智 中庭照善 根岸重浩 林 芳和 福岡 正 福田敬次郎 望月正昭 山中 清 細賀良一 村田敬次郎
- 【23】 (155・33) 青木哲美 新井幸三 出浦重昭 今井洋一 大塚福治 大野公彦 岡村和政 小此木重一 小野寺典助 大野 誠 久米一郎 倉林政光 菊地一幸 水野正治 小林四郎 強瀬洋一 栗田昭雄 関根与三郎 高柳邦雄 田村 隆 戸澤 登 関根与三郎 高柳邦雄 田村 隆 戸澤 登 中嶋英夫 西澤幸雄 増田順行 町田達也 尽田英夫 水上龍夫 美馬 茂 渡辺正治 綿貫 昭
- 【24】 (9・4) 石原輝弥 川崎秀雄 高橋 祐 深町佑二
- 【25】 (13・2) 栗原和夫 相馬昭明
- 【26】 (21・1) 久保田奉幸
- 【27】 (73・13) 大石一房 大野秀頼 神岡順次 藤田得三 近藤忠徳 柴崎輝雄 高野 始 吉川幸男 高柳勇男 広田一雄 宮田弘臣 吉川幸男 吉川由緒
- 【28】 (72・9) 赤沼賢一 井上 清 下田勝彦 落合洋之 木沼保明 阪上安治 竹並栄一郎 田中 弘 矢部幸久
- 【29】 (39・1) 毛利なか
- 【30】 (37・1) 林 千代
- 【31】 (48・3) 小暮とよ 田村幸代 清水つる
- 【32】 (43・13) 湯浅トシ 徳間政子 萩野静江 折茂つね 島居純子 石坂とわ 飯塚ま津子 町田アイ子 横山ハナ 真下盈子 松本英子 齊藤三重子 朝比奈信
- 【33】 (39・14) 小新井静子 藤林つゆ 吉川梅子 吉田久枝
- 【34】 (75・13) 石川てい 重原フミ 渡辺寿美子 勝間菜子 品川セキ子 中村とみ子 水落みつ 小熊信子 木村さかえ 関根みよ 木村富喜子 丸山芳江 中村福美
- 【35】 (71・6) 佐藤たかし 猪野あき子 雲葉静代 山口政枝 猪野美知 長島登美枝
- 【36】 (73・8) 小林クニ 岡岸喜美 野崎イチ 大沢せん 角田イチ 神尾久子 遠藤富士子 山内雅子
- 【37】 (65・9) 杉浦シマ 福島須磨子 杉山律子 小林マサ 内野ジャウ 金田千子 尾谷千鶴 三宅繁代 千葉由波子
- 【38】 (72・20) 出川一子 境野 妙 原田一子 小暮恵子 大沢タケ 齊藤さじ 原口いそ 増田タツエ 吉田しげ 中島トク 小泉マサ子 堀込雪子 須永達子 館 久子 齊藤さき子 岩崎夏子 高木敏子 吉岡錦子 中沢さき子 若湯子代
- 【39】 (64・7) 猪野くに 高橋みよ子 加藤千代子 金井富子 田所静江 飯島イツ 土田貞子
- 【40】 (78・13) 今井ケイ 河野さだ子 長谷川吉子 中島れい子 水垣郁子 福島菊子 椎名い子 加嶋伊勢子 萩原順子 寺口菊江 中谷登喜 内田とみ 山本コヲ
- 【41】 (89・11) 水島はる江 工藤君江 佐瀬つね 黒澤らく 小森谷清江 大藤クニ子 渡辺セン 茂木つる江 内藤さく子 鈴木和子 仁平礼子
- 【42】 (85・16) 石原静江 内野文代 金子富美代 小松郁子 森沢静子 飯塚春江 垣原昌乃 本島伊勢子 日向美子 小泉ハル 福島富美子 西川照子 保田静子 島崎 弓 飯野千代子 吉羽美登里
- 【43】 (95・11) 阿佐美文 茂木 琴 飯塚治子 岡 慎子 日川順子 杉山シツ 須賀シン 亀井佳子 平井常子 柿沢富美子 澤 光子

[illegible]

- 【高28】 (391-25) 浅井一良 石井恵子 石川利一 岡田敏一 渡辺幸子 青木幸子 倉林幾代 坂戸幸弘 坂本等 高橋由美 倉山誠三 永田彰彦 堀田みどり 春山成三郎 平賀雅夫 堀口所男 松井努 篠原桂子 柳瀬桂一 山本康夫 湯山博子 吉田美子 吉田伸広
- 【高29】 (418-27) 青木三郎 阿部祐司 新井亨 安斎宗祐 石井信浩 伊藤道基 大嶋紳一 小賀野実 等原正 岡村玲子 小島梧 坂巻博司 四分一浩 岡村みどり 清水隆子 相馬敦 徳世三郎 中嶋宏 西靖彦 樋口孝昭 深沢三郎 茂木研次 山川富夫 山本勲 横瀬孝広 吉田達夫 新井ひろみ
- 【高30】 (404-27) 青木 井田正志 上田敦弘 浦野実成 大野裕史 岡田正則 笠原健司 小島勇 神岡仁 神田宏 栗原隆志 高柳 田中圭二 田中修 寺尾好夫 中山佳則 永田好一 橋原浩志 根岸由幸 林勝昭 廣瀬真理子 宮本和彦 持田信史
- 【高31】 (393-21) 菅田友彦 足立 寛 新井征 飯塚俊直 小林弘樹 堀原美千代 鶴田晴美 萩原章子 角田直樹 中林美恵子 鶴田晴美 萩原章子 渡辺勝徳 矢代享一 矢内益己 吉田博一
- 【高32】 (409-27) 荒川 忍 今井 弘 大沢公昭 岡田和人 萩野誠 金子真行 河田典雅 川田雅史 久保弘美 小池弘治 神田幸夫 正田健史 滝澤博史 立野博一 新島俊裕 根岸伸樹 野口修 眞島利浩 原善孝 宮川延枝 平賀純世 吉沢博光 高野三枝子 八木良世
- 【高33】 (407-28) 新井伸一 新井潤一 古木晴美 磯野哲也 井田美奈子 上原正和 内田真次 油野哲行 多田 永 小川隆子 小池弘之 小島英明 小林貴志 小林正洋 神原通子 千代田由美 田村英志 高橋 恵 玉虫 勉 戸谷明夫 羽島浩行 原島訓雄 山本仁也 増田勇司 仲沢彰子 松本幸子
- 【高34】 (405-25) 山内弘子 町田美佐子 大谷昌孝 加納賢一 岡田真由美 小川 智 荻野芳男 小川博 神部卓也 小林康由 神小百合 木村悦子 渋谷 晃 新鋭 浩 杉本好子 常木千秋 三友基雄 森田昌隆 山下和幸 鈴木幸恵 吉野貴志
- 【高35】 (407-31) 上村哲人 飯島裕子 石関高志 飯島真理 生方直子 坂戸盛 森川文子 黒澤正弘 金井誠 木戸裕盛 齋藤 宏 杉浦 功 鈴木美久 笠本郁子 高柳一彦 竹井秀寿 田村由美子 竹沢弘子 根岸秀一 山口文彦 新島明歩 森田 誠 森村和宏 山口修 山田和彦 吉田真典 吉田健志
- 【高36】 (397-27) 大村正行 岡村 豊 久間木聡子 荻谷真樹美 斎藤 寛 神原明人 佐藤雅江 佐藤昌彦 浅澤孝典 下田浩之 中島泰之 関延昌夫 高柳幸雄 根岸 功 磯木徳子 福地匡 藤原由美子 細村真美 郡司みづ 松本たつき 丸岡祥一 湯浅浩史 杉田宏美
- 【高37】 (398-25) 青木 剛 阿佐美浩一 石川恭之 植井徹也 小川直樹 織茂孝典 加納 功 亀田光彦 川田 猛 川松朋章 木村敬文 田島久子 多田 衛 高橋知佐 高橋 亮 長嶋 敦 富田 衛 中井正樹 宮澤 満 宮永茂樹 根岸和則 野村拓也
- 【高38】 (403-46) 秋山恵美子 糸川通子 浅田房江 天田陽子 山下孝枝 宮崎智恵 飯塚雅子 井上彰宏 生形崇 大久保健治 大塚 学 加藤知子 大塚 崇 関根朋子 久保田尚美 加藤明彦 加藤幸夫 関根朋子 久保田尚美 加藤明彦 齊藤大天 井嶋和枝 須永秀人 高島優子 反保博也 小峰順子 戸谷収一 鳥羽正幸 中島美 澤多美和 小村美佐子 戸谷収一 鳥羽正幸 小林美津代 長谷川良恵 原沢苗美 広沢栄治 深作和久 眞島千寿子 持田文子 山口光浩 矢島史郎 柳 敦子 山口仁士 山本公紀 吉田一信
- 【高39】 (401-37) 穂山和美 秋山 明 佐々木葉子 針谷清江 飯島弥生 石川智美 今井裕美 今泉 明 岩村勇一 上田宜永 江口 努 大石有美 大木美佐子 大澤恵理 稲垣知子 木村幸代 小暮正之 高田英通 高橋大介 木村隆行 知久明美 鶴田 哲 中井康二 長竹雅子 橋崎伸一 根岸英志 萩原 徹 早崎文彦 宗像幸夫 毛 文義 紅谷政彦 吉田文康 分須 尚 吉田志伸
- 【高40】 (408-31) 井田佳寿代 今泉孝子 大関良雄 大谷早苗 小野佳寿代 掛川雅代 倉林真帆 近藤健司 菅原一昌 高林津代 高橋小織 高橋美和 中村 敦 出井克夫 中澤さえ子 中家健一 根岸孝行 根岸光明 蓮倉経史 東美千代 福島大輔 福島史崇 藤田順子
- 【高41】 (419-29) 柳沢宏美 松本勝己 松本貴夫 茂木洋子 吉村 健 若林敬夫
- 【高42】 (413-21) 浅田東一 石田法子 五十幡史郎 岡 光洋 河野秀一 齋藤 敦 櫻井 実 杉原啓介 鈴木厚夫 住廣健二 関口新一 竹井正好 田中恵美子 田部井陽子 常木茂成 中村彰子 永井隆之 根岸裕子 矢島美香 矢島大司 吉田住心
- 【高43】 (429-17) 新井昌之 櫻村利恵 五味真美子 齊藤 昇 高橋美信 櫻村裕子 浜野良一
- 【高44】 (477-16) 飯野秀明 大嶋由紀子 笠原千明 河村恵美 小松崎正尊 戸谷早百合
- 【高45】 (417-6) 上原雅行 大木英明 大久保直也 常木正之 徳山貴行 三浦恭子
- 【高46】 (407-31) 青山優子 安食 潤 新井志津乃 五十嵐香 伊沢卓宏 今井有史 岩田美貴 内田善幸 江口祐二 大塚康史 片桐千恵子 魚巻久美子 神原亜哉 柴崎光治 菅原千寿 小和順子 柴崎芳彦 高橋伸夫 武田雅彦 長南 学 塚越芳彦 島羽大河 中澤和孝 永井厚夫 波形智江 橋本健司 早野しのぶ 保倉秀夫 松島晃子 橋山美季
- 【高47】 (405-5) 織田恵美子 北川 大 久保 悟 牧田幸子 山田清徳 山田清徳
- 【高48】 (409-11) 原さや香
- 【高49】 (409-11) 島村 弘
- 【高50】 (19-16) 相川六郎 黒田達雄 鈴木三吉 須藤達朗 竹内清四郎 吉田昭雄
- 【高51】 (46-10) 荒井 茂 飯塚 栄 岩上 重 内田寛一 山口勝吉 増野 忠 松原和三 石川富枝 三澤 潤 茂木岩夫
- 【高52】 (86-18) 荒井二郎 新井 昭 江原俊夫 織茂明 門倉明 小林哲夫 永野 栄 関口八朗 高月永作 小川久美子 根岸昌司 萩原章 日向義雄 日向五三三 藤井一雄 宮原利久 茂木一男 山口正明 山口正男
- 【高53】 (66-19) 岩井昭一 荻野良三 織茂尚次 笠本達明 金井正明 亀田 弘 木村利男 小林勝治 吉沢善太郎
- 【高54】 (76-19) 諸岡祥作 佐藤麗子 小賀野幸作 杉山 実 田島清 立野栄二 町田吉雄 諸岡英夫 吉野光治 立野栄二 町田吉雄 諸岡英夫
- 【高55】 (73-15) 五十嵐実 岡村勘十郎 恩田三郎 栗原悦雄 富田信子 関口保司 竹内孝三 橋本 実 林 富司 藤野廣樹 堀田恒雄 町田 守 間庭豊樹 森 彰 渡辺芳一
- 【高56】 (81-18) 石倉正明 岡田征男 神長信義 小林金重 関野喜一 岡田進 山田松義 小林弘子
- 【高57】 (64-12) 飯島徳三 石川光三郎 石川 薫 高柳弘子 河田英子 塩原喜平 杉山則子 高月昇 根岸伸年 野沢 茂 細谷保夫 渡辺俊彦
- 【高58】 (47-16) 天田敏明 岩田忠明 大須田保 金井照季 高村真三 田島奈々子
- 【高59】 (69-16) 柿沢敏文 金井文太郎 設楽正春 戸谷一太郎 松本圭司 和田昭次
- 【高60】 (58-14) 群見サチ子 根岸 進 野木英幸 前村俊雄
- 【高61】 (57-14) 石原文子 落合義信 高橋 勇 茂木由紀子
- 【高62】 (63-15) 柿沼紀美江 神倉克也 坂上忠正 塩原記和 山口文男
- 【高63】 (40-14) 石井 忠 栗田洋子 深田一穂 山田龍男
- 【高64】 (43-13) 荒井之夫 大塚 宏 松井 豊
- 【高65】 (76-13) 橋本米子 茂原東海夫 船戸和子
- 【高66】 (81-5) 池田敏爾 大場正明 川井一郎 小林正夫 中沢 敏
- 【高67】 (68-15) 早野久子 大塚 実 牧野智子 豊田朱実 塩原 豊
- 【高68】 (79-12) 岡村幸二 倉林光雄
- 【高69】 (56-13) 阿部晴美 千田 昇
- 【高70】 (71-5) 米持美子 齊藤良平 清水美廣 関口民子 根岸孝夫
- 【高71】 (42-11) 丸木和幸
- 【高72】 (50-11) 荻野千鶴
- 【高73】 (26-11) 加藤育枝
- 【高74】 (36-11) 織茂 保
- 【高75】 (29-11) 原島千代子
- 【高76】 (14-11) 志塚武三
- 【高77】 (14-11) 丸山東條
- 【高78】 (14-11) 宮原恵一
- 【高79】 (21-12) 瀬山貴史 武田ミサ
- 【高80】 (52-12) 井上正子 井上ミチ子
- 【高81】 (46-11) 栗原寛代子
- 【高82】 (36-11) 井草光子
- 【高83】 (37-12) 井上あさ江 岩井絹子

紙面案内

- P 1 会長挨拶 母校創立75周年記念5大事業の発表
P 2 柏稜消息 3恩師のお言葉と記念講演会紹介
P 3 母校案内(1) 校長挨拶文と進路状況
P 4 母校案内(2) 運動部・文化部活動状況
P 5～8 平成8年12月15日現在卒回別終身会費納入者ご芳名一覧 [No.1('77.9.17)～No.3,460('96.10.2)]